

大会結果報告

新チーム初陣・新人戦 ブロック決勝で敗退

日程	対戦校	スコア	バッテリー	安打数	長打	失策
2回戦 8月22日	高水	010-4	網本周、網本匠 - 網本賢	10	(二)原田 廉	3
ブロック決勝 8月24日	岩国工	00-6	網本周、網本匠 - 網本賢	6	(二)網本 賢	0

【2回戦：高水戦】攻撃では、初回から4回まで安打や四球をからめ「1、2、2、3」の毎回得点をあげ、試合の主導権を握った。磨きをかけてきた「バント」の精度の向上が見られた。一方、チャンスで一本でなかったり、犠牲フライでの得点になったりする場面が複数あり、低く強い打球を放ち連打にできていたらなおよかった。

守備は、網本周・匠(両右腕・2年)の継投で要所を締めた。しかし、内野・外野の平凡な失策が絡んで相手に4点を許した。また、練習試合から「ストライク先行で四死球を減らす」意識で取り組んできたが、この日は6つの四球を出してしまった。コールドゲームまであと1点に迫りながらもできず、チームとして詰めの甘さをなくしていきたいと感じた。

【ブロック決勝(シード決定戦)：岩国工戦】

勝てば久しぶりの「秋のシード権獲得」がかかったブロック決勝でしたが、相手エースの好投に突破口を開けず、無念の完封負けを喫した。特に打線は、6回先頭8番の網本賢(2年)の2塁打まで無安打と沈黙した。終盤に安打が出はじめ、田村・梅岡(両1年)の代打陣も機能してしぶとく安打を放つも、すべて散発に終わりホームが遠かった。

守備面では、網本周・匠が2回戦に引き続き登板した。計6点を許すことになるが、得点が入った回はいずれも四死球はじまりだった。本来、制球力が武器の両投手だが、本大会では精彩を欠くかたちになり、レベルアップして公式戦で実力が発揮できるようになってくれることを期待する。野手陣は、ブロック決勝では無失策で守り切った。

前チームから、なかなか得点をあげることができずに敗戦する試合が多かったが、この日も同じような結果になった。開幕が迫る秋季大会までに、チーム全体として基本に忠実に、センターに低く強い打球が出せるようになること、バントを有効に使い確率よく得点を重ねられるチームなることを誓った。

☆秋季大会以降の練習試合は、随時決まっていきますので、追ってご連絡いたします。また「1年生大会」は、2回戦で桜ヶ丘・南陽工の勝者との対戦が決まっていますが、日時・場所ともに現在未定です。

秋季大会 打撃の成果出るも守備が乱調 2回戦止まり

日程	対戦校	スコア	バッテリー	安打数	長打	失策
1回戦 9月14日	誠英	03-1	網本周、網本匠 - 網本賢	8	(三)原田 廉 (二)田中 瑛	0
2回戦 9月20日	岩国商	07-17	網本周、田中 瑛、網本周、網本匠 - 網本賢	7	(三)田中 瑛 (二)小林、田中 瑛	7

【1回戦：誠英戦】エース・網本周が先発した。1,2回を三者凡退に打ち取り、試合の流れをつかんだ。攻撃は2回、6番田中瑛人主将が2塁打と相手の隙を突く走塁で一気に3塁を陥れ、続く打者の失策の間に先制した。先発の網本周は4回に1点失うも要所を締め、6回から網本匠へリレーし追加点を許さなかった。攻撃では4,6回に5番藤原が2打席連続でスクイズを決めて各1点をあげ、よいかたちで得点をあげ勝利を収めた。守備は無失策、特化してきた「バント」「走塁」の成果を出すことができた。

【2回戦：岩国商戦】相手左腕対策を一週間して試合に臨んだ。初回、先頭の藤田峻八(1年)がヒットで出塁、失策や死球が絡み2点をあげたあと、6番田中瑛人の適時二塁打で幸先よく3点を先制した。1,2回の守備も全員で守りぬき、本校ペースかと思われた。しかし3回から投手の制球、守備の乱れが連発、3,4回で9点を失う。5回攻撃では相手投手の代わり際を攻め、再び一挙4点をあげて2点差に迫るが、5回その裏、2死からまさかの5失点で完全に試合の流れを失い、6回にも3点奪われ無念の6回コールド負けに終わった。ふたを開けてみれば、「被安打14、失策7(記録に残らない失策ほか多数)、与四死球12」という結果に終わり、攻撃では一定の成果が出た一方、悪天候のコンディションを差し引いても守備があまりに粗末だった。

この悔しい敗戦を冬の鍛錬期にぶつけ、チームを真に生まれ変わらせていきたい。

☆福岡遠征実施の報告

8月27,28日で福岡県へ強化遠征を行い、夏の甲子園ベスト16の西日本短大付属高校、福岡南部の強豪・大牟田高校と対戦しました【西短：1-8、1-8 / 大牟田：1-12、1-5】。全国レベルを肌で感じ、チームとして良い刺激になったと感じています。今後とも、充実した練習試合を実施し、レベルアップを図りたいと思います。

【早朝、宿舍周辺の清掃活動をする部員→】

